

## 日本の新進作家 vol.15

### 小さいながらもたしかなこと

Contemporary Japanese Photography vol. 15

Things So Faint But Real

2018年12月1日(土)～2019年1月27日(日)



森栄喜〈Family Regained〉より、2017年(参考図版)

## 展覧会概要

東京都写真美術館は、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘し、新しい創造活動の場となるよう、さまざまな事業を展開しています。その中核となるのが、毎年異なるテーマを決めて開催している「日本の新進作家」展です。

シリーズ第15回目となる本展は「小さいながらもたしかなこと」をテーマに掲げ、自らの感性や考え方、アイデンティティやリアリティを手がかりに作品を制作する作家を取り上げます。

予測困難な自然災害や広がりを見せる経済格差、LGBTの人々に対する法的整備の遅れ等、個人をめぐる状況がゆれ動き、たしかなことを見出しにくい時代に、作家によって作品に込められた「たしかなこと」。

その一つ一つは決して大きなものではないのかもしれませんが、わたしたちに、この困難な時代を生き抜く勇気や希望を与えてくれます。本展では、作家それぞれの「小さいながらもたしかなこと」に迫り、その表現の射程を探ります。

## 出品作家 (予定)

森栄喜、ミヤギフトシ、細倉真弓、石野郁和、河合智子

## 作家略歴

森栄喜 (Mori Eiki, 1976 - )

石川県生まれ。2001年、パーソンズ美術大学写真学科卒業。写真集『intimacy』（ナナロク社、2013年）で第39回木村伊兵衛写真賞を受賞。主な個展に「Family Regained」（KEN NAKAHASHI、2017年）等。



森栄喜〈Family Regained〉より、2017年（参考図版）

ミヤギフトシ (Miyagi Futoshi, 1981 - )

沖縄県生まれ。2005年、ニューヨーク市立大学卒業。主な個展に「How Many Nights」（ギャラリー小柳、2017年）、「American Boyfriend: Bodies of Water」（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、2014年）等。



ミヤギフトシ《Sight Seeing/感光 #11》、〈Sight Seeing/感光〉より、2011年（参考図版）

細倉真弓 (Hosokura Mayumi, 1979 - )

京都府生まれ。2002年、立命館大学文学部、2005年、日本大学芸術学部写真学科卒業。主な個展に「JJuubbiilleeeee」(G/P gallery、2017年)、主な写真集に『Jubilee』(アートビートパブリッシャーズ、2017年)、『写真集 川崎』(サイゾー、2017年)等。



左) 細倉真弓《多摩川》、〈川崎〉より、2016年



右) 細倉真弓《BAD HOP》、〈川崎〉より、2016年 (左右ともに参考図版)

石野郁和 (Ishino Fumi, 1984 - )

兵庫県生まれ。2012年、ロチェスター工科大学卒業。2014年、イェール大学大学院修了。2015年、「ジャパンフォトアワード2015」受賞、「キヤノン写真新世紀」佳作。2017年、初の写真集『Rowing a Tetrapod』(MACK)を刊行。



左右ともに、石野郁和《Untitled》、〈Melon Cream Soda Float〉より、2017年 (参考図版)

河合智子 (Kawai Tomoko, 1977 - )

愛知県生まれ。2001年、アカデミー・オブ・アート大学卒業。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修員（ドイツ）。主な個展に「泉の起源について／On the Origin of Springs」（クンストラーハウス・ベタニエン、2018年）、「UTOPIA」（Gallery 916、2014年）等。



河合智子《泉の起源について／On the Origin of Springs》、2018年（クンストラーハウス・ベタニエン展示風景）（参考図版）

## 開催概要

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／東京新聞

助成 芸術文化振興基金

協賛 東京都写真美術館支援会員／凸版印刷株式会社 他

会場 東京都写真美術館 2階展示室

東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Tel 03-3280-0099 URL <http://topmuseum.jp>

開館時間 10:00-18:00（木・金は20:00まで。ただし、1月2日〔水〕、3日〔木〕は11:00-18:00）

※入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日（ただし、12月24日〔月・振〕および1月14日〔月・祝〕は開館し、12月25日〔火〕と1月15日〔火〕は休館）

観覧料 一般 700（560）円／学生 600（480）円／中高生・65歳以上 500（400）円

※（ ）は20名以上の団体料金 ※小学生以下および都内在住・在学の中学生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料 ※1月2日(水)は無料（予定）

## このリリースのお問い合わせ先

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 東京都写真美術館

1-13-3 Mita, Meguro-ku, 153-0062, Tokyo, Japan

Tel 03-3280-0034 Fax 03-3280-0033 <http://topmuseum.jp>

展覧会担当 伊藤貴弘 [t.ito@topmuseum.jp](mailto:t.ito@topmuseum.jp)

広報担当 久代明子 平澤綾乃 前原貴子 [press-info@topmuseum.jp](mailto:press-info@topmuseum.jp)